



FÛ

EN

楓園

CONTENTS

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1 — 学院 NEWS・史料室レター | 9 — 行事報告 12月～2月 |
| 2 — 聖書の言葉・英和探訪 | 10 — この人に聞く 小出いずみ |
| 3 — 大学 大学院 NEWS | 11 — 学院人事 |
| 5 — 中高部 NEWS | 13 — 2011 年度 行事予定 |
| 7 — 小学部 NEWS | 15 — 英和の植物通信・お知らせ |
| 8 — 東洋英和幼稚園 NEWS・かえで幼稚園 NEWS | |



■東洋英和幼稚園の子どもが描いた春の絵

季節ごとにクラスのボード（壁面）が、子どもたちの絵で飾られます。
一人ひとりが描いた絵を切り取り、クラス全員の絵を組み合わせて、
素敵なボードが出来上がります。

このたびの東日本大震災によって亡くなられた多くの方々に対し、心から哀悼の意を表します。また、今なお困難な状況におかれている多くの被災者の方々に、主のお慰めと平安を祈りつつ、お見舞い申し上げます。

地震後の対応について

法人事務局

このたびの地震後の当学院の対応等につきまして、現時点(三月末)までの状況を取り急ぎご報告いたします。

地震が発生した三月十一日(金)午後二時四十分、学院各部にはまだ大勢の児童、生徒、学生、教職員が在校しておりました。地震発生後、ほとんどの公共交通機関が途絶する中、その夜は小学部、中高校、大学、学院本部で、多くの方が宿泊を余儀なくされました。寒さの中、用意してあった非常用物資を分かち合いつつ、力を合わせながら無事に一夜を過ごし、児童、生徒たちは迎えに来られた保護者の方々に付き添われて、翌日十二日(土)の午後までには、順次、全員無事自宅に戻って頂くことが出来ました。この間、折からの通信事情の悪化により、ご家庭と学院との連絡がままならない事態も発生し、大変ご心配をおかけいたしましたことをお詫びいたします。

その後、学院各部の建物を取り急ぎ検査しましたところ、一部に軽微な傷が発生したものの、構造に係る損傷は認められませんでした。また、同じ日に大規模な地震が発生した長野県所在の校外施設である野尻キャンプサイト、軽井沢追分寮、さらには

栃木県所在の那須山荘にも、損傷は発生しておりません。

なお、那須山荘については、栃木県に隣接する福島県の被災者の方々の避難施設として是非活用して頂きたい旨、地元自治体である那須塩原市に対し、申し出ています。

以上のように、大地震とそれに続く交通途絶という非常事態を、関係の皆様のおかげで協力とご理解により、一人の怪我人もなく乗り切れたことにつき、改めて厚くお礼申し上げます。私どもとしましては、今回の経験を踏まえて危機対応体制の充実を更に図るほか、建物・施設の保全本も万全を期す所存です。

その後、学院各部では、卒業式を状況に応じて一部予定を変更したかたちで行いましたが、入学式をはじめとする新年度の行事や活動については、現時点では概ね予定通り執り行う方針です。ただ、今後、節電要請に伴う電車の運行減少などに対応し、通常時とは異なる運営を行う必要が生じるものと考えられますので、ご家庭との連絡を密にしなが、対応に誤りなきを期したいと考えております。引き続きご理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

(二〇一二年三月三十一日)

「カナダに桜を」桜プロジェクトメンバー募集

『カナダ婦人宣教師物語』刊行から丸一年。この物語は、多くの感動を呼び、読者を増やし続けています。その中の一人の同窓生からの発案で、今春「桜プロジェクト」の活動がスタートします。東洋英和女学院の関係者で、この趣旨にご賛同くださる方ならどなたでもプロジェクトチームに参加可能です。詳細は学院HP等でご紹介して参ります。まだこの本を手になさっていない方は是非この機会に学院史料室か同窓会でお買い求めください。

「桜プロジェクト」趣旨

ミス・カートメル以来百数十名もの多くの婦人宣教師の信仰とお働きが今日の東洋英和の礎となったことを覚え、ミス・カートメルを遺わして下さったセンテナリーチャーチのあるハミルトン市に日本の桜をお贈りし、感謝と友好の絆として永く記念していくことを目指します。

前号「楓園63号」特集 後援会において記載に不備な点がございました。改めましてここに訂正箇所を掲載させていただきますとともにお詫び申し上げます。

【楓園63号 訂正】

P.2「後援会役員一覧」のうち

【誤】 阿倍義高
↓
【正】 阿部義高

P.3「戦後の後援会役員」写真説明文

【誤】 左より安藤忠三郎副会長、
一万田尚登会長、加藤陸策副会長
↓
【正】 左より加藤陸策副会長、
一万田尚登会長、安藤忠三郎副会長



史料室レター ③

史料展示コーナー

「東洋永和の勤労働員」のお知らせ

史料室では、今、太平洋戦争時に東洋永和の生徒も動員された事実を体系的に記録に残そうとしています。

「史料室だより」前号 No.75と、今回「楓園」と同時発行のNo.76で特集を組み、史料室に残されてきた数々の当時の史料をまとめてみたところ、学院がどのように戦時体制に組み込まれていったかが浮かび上がってきました。

そこで本部・大学院棟の史料展示コーナーでは、数冊の「作業所日誌」「教務日誌」「教員会議記録」をはじめ、「青少年に賜りたる勅書」やもんべ服を展示し、生徒にもイメージがつかみやすいよう勤労働員Q&Aを作ってみました。勤労働員を経験され

た卒業生の手記数点も、読めるようケース上に並べました。

今回の展示期間は9月まで、途中で資料の入れ替えも予定しています。お近くにおいでの際はどうぞお立ち寄りください。

勉強したくても授業がなく、不安や悲しみと隣り合わせでいながら、夏休みも返上で健気に勤労働員作業に従事した当時の英和生に思いを馳せるにつけ、今勉強できる平和を感謝しながら大切に守っていかなければならないと思うものです。



正面玄関にて。もんべ姿の生徒たち

イエスは言われた。

「狐には穴があり、空の鳥には巢がある。

だが、人の子には枕する所もない。」

ルカによる福音書 九章五八節

祈りの受難節を終え、主の復活を喜ぶイースターを教会では祝いました。イエスさまのご生涯をかえりみると、多忙な日々をおくられつつ、神の国と十字架の赦しを宣べ伝えられたことと
 思います。



「狐には穴があり、空の鳥には巢がある。だが、人の子には枕する所もない。」この言葉がイエスさまの日常を表現しているものです。狐にも空の鳥にも安心して休む場所がある、しかし、イエスさまには心休める場所がない。それは、神の国を宣べ伝えることへの緊急性が語られているのでしよう。伝道と時間、その中で、イエスさまは様々の事柄を通して、私たちに神の国を伝えられました。そのイエスさまに従う私たちも、いつの日にか「枕する所もない」と言えるような伝道をしたいと願います。

中高部聖書科教諭

北見さとみ

人と思いがめぐって黄水仙が咲く場所。かえて幼稚園の花壇を訪ねました

今回ご案内いただいたのはかえて幼稚園の敷地の西側にある花壇です。いままで笹が根を強く張っていた斜面でしたが、ボランティアのお母様方と大学の保育子ども学科の実習生たちが先生方とともに、二〇〇八年の春から開墾作業を続けてきました。開拓された斜面に植えられたのは三〇〇株にもおよぶ「黄水仙」。「黄水仙」といえば東洋英和の卒業式には欠かせない花です。年長組の子どもたちも球根を植え、三月の卒業式にみんな育てた黄水仙を飾ろうという計画です。

園長の森高ホサナ先生は、かえて幼稚園の初代園長であった石井次郎先生がおっしゃっていた「子ども庭園（キンダー・ガールテン）」としての幼稚園のあり方について語ってくださいました。園に播かれた種子である子どもたちがすくすくと育つ庭園がすなわち幼稚園であって、教育者である先生方はそれを管理する園丁で、その園丁は太陽や水のごとく子どもたちを成長させてくださる神様の手助けをする存在であるということ



四季折々の花をさまざまなかたちで活かします

ことを、かえて幼稚園では大事にしてきたそうです。自らもエプロン姿で土を耕し、すばらしいガーデナーぶりを発揮されている森高先生ですが、昔も

長野彌院長が同じようにかえて幼稚園の庭を慈しみ、まるで「熊が出た」と言わせんばかりにまわりをびつくりさせながら、かえて幼稚園の花壇を丹精されていたそうです。そして、今回たくさんの黄水仙の球根を植えるきっかけとなったのは長野先生のご息女の若杉羊奈子様から球根をいただいたことでした。さまざまな人々の思いが重なって三月には花壇が美しい黄色でいっぱいになることでしょう。



お母様、大学実習生、先生方みんなで開墾しました

追記
 美しく咲いた黄水仙の写真がかえて幼稚園から届きました。



大学の就職への取り組みと現状

国際社会学部国際社会学科教授 有田 富美子

大学も9月末の後期になると、スーツ姿の学生が急に増えて、学生のたまたまが社会人に近づく季節です。

昨今の就職活動は、比較的多くの学生が、3年次の秋や初冬には就職セミナーを受け始めます。この時期、OGをはじめ、学院関係者の皆様のもとに学生がお伺いしてご指導・ご協力を賜り、感謝申し上げます。11月になると経団連に属さない企業が面接などの採用試験を開始し、翌年の2、3月には経団連の紳士協定に沿う多くの大手企業も会社説明会を開始し、4月1日から一斉に採用試験が開始され、学生は大学のキャリア就職課と就職先を往復する日が続きます。10月1日に多くの企業で内定式が行われ、学生の就職活動はほぼ終わります。学生の中には長丁場の就職活動になり、それを乗り越える体力・気力とも充実していなければなりません。一方、幼稚園免許や保育士の資格をとって、幼稚園や保育園への就職を希望する学生は、4年生の後期になってからの就職活動になります。

大学は2010年度から2学部4学科になり、あたらしいカリキュラムでの教育になりました。1年生必修の授業に「キャリア設計」という科目が置かれ、将来のキャリアと学生生活を設計します。この科目では、大学生活を意義のあるものにするために、働くことや人生設計に関わる講義や企業経営者・卒業生の講演を聞いたりして、将来の生き方について考え、それをふまえて大学生活

の計画を立てます。この計画を実行し、省察し、必要ならば軌道修正をしたりする、こうした流れをサポートするポートフォリオの作成の仕方についても学びます。これにより、学生たちが入学直後という早い段階から将来の生き方や就職活動を意識し、ポジティブな学生生活を創る態度や志向性を学生たち自らが養っていきます。上級生の科目にもキャリア設計を考える科目や、インターンシップを行う科目も用意され、自分の適職を探求し、学生にとって英和の4年間で、充実した学びと経験の詰まった時となり、満足のいく人生になることを願っています。

現在、大学では学生支援の優れた取り組みとして文部科学省に採択されたふたつのGPが進行しています。第1は「就職の早期意識化と基礎学力強化による就職支援」（平成21年度から3年間）です。第2は、「『女子就業力』を伸ばす実学的専門教育」（平成22年度から5年間）です。このGPによりスタディ・カフェを設置しました。ここでは、本学開発による自習教材を使い、常駐するスタディコンサルタントの力を借りながら、数学力や文章表現力などを強化できます。また、キャリア設計を個人的に相談できるようにキャリアコンサルタントも毎日指導に当たっています。

※ GP は Good Practice のことで、文部科学省では、教育の質向上に向けた大学教育改革の取組を選定し、財政的なサポートや幅広い情報提供を行う。

学びの日々に感謝

《早稲田大学大学院 政治学研究科ジャーナリズムコース進学》

私は一昨年英和に社会人編入し、この4月からは早稲田大学大学院政治学研究科ジャーナリズムコースに進学することになりました。1990年に東洋英和短期大学の英文科を卒業し都市銀行に秘書として5年間勤務、その後は主婦と母親として過ごして参りました。次第に、何か社会に貢献できるような生き方をしたいという思いが強くなったことが編入の動機となりました。

大学での2年間を振り返ってみると、新しい知識に満たされる満足感や久しぶりに味わうテストの緊張感など想像以上の大変さもありましたが、充実感はそれに勝るものでした。家庭との両立は大変と感じる時もありましたが、家族や周りの方の理解と協力で乗り切ることができました。

自分を見つけた一年

《ヒルトン・ワールドワイド ヒルトン大阪内定》

大学三年になっても、将来自分が何をしたいのかよく分かりませんでした。そこで大学主催の説明会で聞いたことをなぞる形で私の就職活動は始まりました。業種にこだわらずに多数説明会に参加して「ここだ」と思ったのが、アットホームで快活な雰囲気のホテルでした。

エントリーシートには三年間続けた個人塾講師のアルバイト経験を強調し、グループディスカッションではタイムキーパーとして主体的に関わり、三回の集団面接では自分の持ち味を積極的に出していきました。どのような試験でも必要なのは論理性と説得力です。最後の大

国際社会学部
国際社会学科国際コミュニケーション専攻卒
森田 信子



私は東洋英和のととても良いところは、マンモス大学と違い先生方が身近であるということろだと思っています。今回私が大学院に進学できたのも、多くの先生方のご指導のおかげであり、それがなかったら大学院という選択肢は夢で終わっていたと思います。自分自身の課題や方向性が漠然としていた時に色々相談に乗って下さり、「できるから頑張れ！」と背中を押してくださったのが町田幸彦先生でした。他にもゼミのスイッペル先生や滝澤三郎先生など多くの先生方にも支えていただき、行くべき道が開けたと感じています。

この出会いと学びの時を与えてくれた東洋英和に感謝し、春からの大学院生活も充実したものになるよう努力したいと思っています。

国際社会学部
国際社会学科卒 野村 満里恵



阪での四十分間の個人面接では緊張しましたが、面接官の目を見て笑顔で向かいました。面接では語学力に自信があること、大学での学びから多角的視点を得たこと、アルバイトからは仕事に対する姿勢を学んだこと、そして将来コンシェルジュになりたいことなどを話しました。

何度も面接を受け、自分がどういう人間なのかも見えてきました。就職活動の「職を見つける」プロセスには「自分を見つける」ことが不可欠だったのです。超就職氷河期と称された大変な一年間でしたが、「自分」を見つけた私は四月から働くことが楽しみでなりません。

「出会い」から生まれたキセキ

《日体荏原高等学校内定》

教師になることは私の小学生の頃からの夢であったが、その道は想像していた以上に厳しいものであった。98人の応募者の中から日体荏原高等学校で採用予定のお話があったのも、東洋英和女学院大学の教職課程のおかげであると強く感じている。

教職課程の授業は、追分寮での合宿やディズニーシーでの遠足下見練習(?)など、講義だけではなく実際に教師の仕事を体験できるよ



うなものが多かった。授業見学も数多く、東洋英和の中学部や高等部で松木強先生や瀧川徹先生の

英和らしく国際理解教育に強い教員を養成するために、大使館(ドイツ連邦共和国)の見学も教職課程の授業に取り入れています

人間科学部
人間科学科 人間文化専攻卒 熊田 陽香



授業を見学したほかにも、夜間中学や定時制高校など、普段足を踏み入れないような学校にも訪れた。そこで私は学校や教師によって授業内容は大きく変わることを学んだ。そのおかげで、教育実習でも私なりの個性を授業内に活かすことができたと感じている。母校、明治学院東村山高等学校での教育実習では、特に生徒とのコミュニケーションに力を入れて取り組んだ。最初はどのように話しかけようかなど戸惑ってしまうこともあったが、生徒たち全員の名前を覚えてからは気軽に話しかけてくれるようになった。そのような教師の努力にも、生徒たちは敏感に反応するというのに、教育実習を通して気がつくことができた。

教育実習が終了してからは、教師になりたいという気持ちがますます強くなった。授業見学で出会った現場の先生方、教育実習で出会った生徒たち、また教職課程でお世話になった大学の先生方との出会いを大切にしたいからこそ、4月から教壇に立つことができるのだ。これからは出会いを大切に、生徒たちのために励んでいきたい。

“夢” その手で掴みとれ! GRIP!

《大日本住友製薬株式会社内定》

就職活動は、“最強の自分探しの旅”。ゴールは“内定”ではなく、その先の未来にあり、自分自身の可能性を探ることが、就職活動の本当の意味である。就職活動を通してこのことに気付いた私たちは、この想いを後輩たちに伝えるべく、「GRIP!」を結成しました。

誰もが初めての就職活動。何から始めればいいのか? 何が正解なのか? 小さな疑問も恥ずかしくて聞きづらい…。先輩のいない私の就職活動も同様、“未知”の連続でした。先輩が気軽に相談にのってくれば、どれだけ心強かったか。先輩のリアルな就活体験談を聞ければ、いち早く“就活は自分探しの旅”と気付けたのではないかと。「GRIP!」の使命は、以前の私のような悩める就活生を救うこと、そのための全力のバックアップ体制を築くことなのです!

「GRIP!」は、学部の枠を越えた約10名のメンバーで、相談会、内定者との座談会、グループディスカッション・面接対策ワークショップ

人間科学部
人間科学科 臨床心理・社会心理専攻卒 見尾田 愛
(就職活動支援サークル“GRIP!”代表)

などを開催しています。また、就職活動を終えた先輩として“大切に思ったこと”、“やってよかったこと”、“やればよかったと思うこと”をありのまま伝えていきます。現在では、月に20~30名の利用者を迎え、ときに笑い、ときに涙しながら、一緒に全力の旅をしています。

忙しい日々の中でも自分を見失わず、就職活動を通して、「本当にたのしかった」、「成長できた」と実感してもらえるよう、ともに悩み考え、自分探しを熱くサポートする、最強の就活応援団として走り続けています!



大学院で学んだこと、現在へ

《国立成育医療研究センター 臨床心理士》

大学院の授業は、平日は18時半(ゼミの日を除く)、土曜は朝9時から始まります。辺りが暗くなる頃、華やかな六本木の街並みや東京タワーの灯りを横目に、2年間鳥居坂へ通いました。

私は、大学・大学院の6年間を東洋英和で学び、大学院修了後は臨床心理士として病院や公立小学校で働いてきました。大学・大学院では、座学に留まらない、現場の世界で心理学を学ばせてもらったと感じています。それは、東洋英和の大学院が社会人大学院(夜間)であったことが大きく関与していたように思います。

社会人大学院の良い所のひとつは、授業が平日の夜間と、土曜日に集中しているため、平日の日中を実習や勉強に費やす事が出来る点です。もうひとつは、大学時代以上に、世代や性別を超えた様々な経験を持つ人達と一緒に勉強することができる点だと思っています。実際

人間科学研究科人間科学専攻 臨床心理学領域修了 新村 麻里奈
(2006年度修了生)

に、実習で得られた経験は働き始めてからの大きな支えとなり、同級生達とは今でも交流が続いています。

大学院を修了し、仕事を始めて早5年。その間感じたのは、自分自身の内面や経験に向き合う事で、得られることがたくさんあるということです。臨床心理士という仕事はもちろんですが、これはどの職業でも当てはまる事だと思っています。

私事になりますが、昨年の夏に出産をしました。現在は1年間の休職中、子育て真っ最中です。さて、今回のこの経験は私に何をもたらしてくれるのでしょうか。今、復職の前にドキドキしながら気持ちの準備をしています。



3. チャペル通信「ナルドの壺」

中高部では、保護者に向けてチャペル通信「ナルドの壺」を年に2、3回発行しています。「ナルドの壺」が発行されるようになったいきさつについて佐藤順子先生（前高等部部长）は次のように述べておられます。

「礼儀・作法や道德のための『よいお話』ではなく、生徒が神の愛の対象としての自己に気付き、その愛を受けて神と人へと仕える人へと育つように祈りながら語られるのが『礼拝のお話』です。確かに毎日、私はそのようなお話を聞くことの幸せを感じながら、共に礼拝を捧げています。保護者の方々もこのような恵みを分かちあい、学校のキリスト教教育をよりよく理解していただくことを願い、神様の言葉を家庭にも届けたいと願って、1982年アドヴェントに『ナルドの壺』第1号が発行されました。」（合本『ナルドの壺』巻頭言より）

「ナルドの壺」は、今も途切れることなく保護者に届けられています。25周年を迎えた2006年には1号から合本にすることが宗教委員会で企画され、二年かけて合本『ナルドの壺』を作成しました。それらは諸先輩方が何を大切に、どのような思いを持って東洋英和女学院中高部で歩いてこられたかを知る大切な財産にもなっています。



クリスマス礼拝：大講堂に歌声が響き渡ります

4. さいごに

私たちは中高部で学力を培い、身体を鍛えるだけでなく、神と出会ってほしいと願っています。そして、神が独り子をお与えになったほどに一人ひとりを愛しておられることを知ってほしいと思っています。「愛されている」という確信ほど、人を勇気づけるものはありません。

キリスト教が初めて日本に伝えられた時、宣教師たちは「愛」という言葉を「ごたいせつ」と訳したと言われます。私たちは礼拝を通して「あなたは“ごたいせつ”にされている。何ができるかできないかに関係なく、またどん

な状況になったとしても、あなたの存在そのものが、すでに神に愛されている」ということを伝えたいと思っています。神に愛されているという確信は、一生を支える心の杖となるのではないのでしょうか。

礼拝する場所の問題、お話を担当する方の負担（基本的にはクリスチャンの教師が担当しますが、回数が多くなると準備に負担がかかってしまいます）など課題がないわけではありません。しかし、それらの課題と取り組みつつ、これからも礼拝を大切にする伝統を守っていきたいと思っています。



クリスマス礼拝の後に行われる降誕劇



YWCA クリスマスキャンドルサービス：キャンドルの明かりのもとクリスマスらしいあたたかな雰囲気包まれます



天文部合宿での礼拝：合宿先でも礼拝はかかしません



音楽礼拝：生徒たちの演奏により讃美を捧げます

1. 毎朝の礼拝

一日の学校生活が、聖書の言葉を聴き、祈り、讃美歌を歌うことによって始められ、終礼時の祈りをもって終わること。これが中高部の教育の土台として受け継がれ、堅く守り続けられてきたことです。

通常、礼拝は朝8時10分から30分にかけて行われます。場所は、大講堂に中高部の生徒全員が入りきれないため大講堂、小講堂、各クラス、校内にある二つのチャペル(メモリアルチャペルと東棟6階にあるチャペル)などを使い、その日ごとに場所を変えながら分かれて行っています。ですから礼拝の仕方もあるようで、講堂で学年・学部が集まって礼拝する日や教室で放送を聴きながら、またテレビモニター(大講堂の礼拝の様子を映し出します)を使って礼拝する日などがあります。

礼拝司会(礼拝全体の司会と短い説教と祈り)は、教師が担当します。月に一度ないし二度の礼拝には、近隣の諸教会の牧師方にもご協力いただいています。また、高等部は2週間に一度、中学部では3ヶ月に一度程度の割合で、宣教師の先生やネイティブの先生方による英語の礼拝が行われています。中学部高等部ともクラス礼拝(生徒の輪番で司会とお話をする)の形でされることもあります。

修学旅行など学年単位で行われる宿泊行事の場合、宿泊先で礼拝が行われることは勿論のことですが、クラブの合宿が行われる時も、それぞれの場所で毎朝必ず朝の礼拝が行われています。



普段の礼拝：中学3年生、高校生の礼拝は主に大講堂で行われます

2. 特別礼拝

通常行われる礼拝のほかに、いつもとは違った仕方で行われる特別礼拝があります。それは、次の礼拝です。

★中1歓迎礼拝…新中1を歓迎して中学部全員で行われる礼拝です。通常の礼拝のプログラムの他に新入生の言葉と歓迎の言葉(中3)、ハレルヤ合唱、校歌斉唱などがあります。

★クリスマス礼拝…各学年の合唱を礼拝のプログラムに加えた特別礼拝です。中学部の礼拝後には中1による聖誕劇が行われます。クリスマスには献金をささげますが、それらは約80ヶ所の社会福祉施設、団体、教会等に送られています。

★受苦日礼拝…通常の礼拝の時間に行いますが、特にキリストが私たちの罪の贖い^{あがな}のために十字架にかかってくださったことをおぼえながら礼拝します。この時は克己献金をささげ、社会福祉施設や団体に送ります。



英語礼拝：ネイティブの先生により定期的に行われます



普段の礼拝：中学1、2年生の礼拝は主に小講堂で行われます

★花の日礼拝…神の創造された美しい花を持ちよって、神を讃美する礼拝です。社会福祉活動に関わっておられる方や牧師先生によるお話を通して、社会福祉活動や奉仕の実践についての理解や関心を深めることを目的としています。礼拝後に花を持って養護施設や老人ホーム等を訪問し、交流の時を持ちます。この訪問と交流は中1ディアコニア活動の導入でもあります。

★高等部卒業礼拝…卒業式の前日に行われます。主に大学教育に関わる牧師をお招きし、新しい門出に神の祝福を祈ります。

★音楽礼拝…クリスマス、イースターの時期などに音楽礼拝が行われます。通常の礼拝時間に行われますが説教はなく、聖書朗読、祈禱、全員による讃美の他に、音楽選択者、合唱部、ハンドベル部などが担当して讃美をささげます。



花の日：みんなで花を持ちよりました



クラス礼拝：それぞれのクラスで礼拝します

Ewha 児童をお迎えして

— 梨花女子大学附属初等学校との交流会 —

英語での手紙交換から始まった梨花 (Ewha) 女子大学附属初等学校との交流会も5年目になりました。2007年より Ewha 側から有志児童が、小学部を訪ねてくださっています。

今年は、1月12日 (水) に実施され、小学部全体で、迎える会を持ちました。全学年の児童が、韓国の文化に触れるよい機会になりました。

同じ神様を信じる Ewha の子ども達と友達になることや私達の国と最も深い関係にある韓国の同年代の子ども達との交わりは、得がたい体験だったようです。



小学部の子ども達全員でお迎えしました



Ewha の子ども達より、韓国の伝統楽器を用いた音楽「サムルノリ」を披露して頂きました



Ewha の子ども達が来校してくれました



韓国の伝統文化である「テコンドー」を披露して頂きました



小学部の5年生の子ども達が篠笛とリコーダー、しめ太鼓による合奏をしました



教室で、5年生による交流が持たれました



小学部の有志の子ども達が日本の昔からのあそびである「けん玉」を披露しました



チューリップの花びらで色水作り

春になると、幼稚園の花壇にたくさんのチューリップが咲きます。子どもたちは、散ってしまった花びらをすり鉢に入れ、すりこぎでジュースを作ります。いろいろな色のジュースができ、ジュース屋さんも開かれます。

泥団子作り

泥団子作りは、適した土作りから始まります。手の中で丸め、何度も何度も握り、砂をかけ、水をかけ、また手の中で丸めて硬い泥団子を作ります。いろいろな大きさの泥団子の出来上がりです。



おたまじゃくしすくい

小さな池にカエルが卵を産みに来ます。卵から孵ったたくさんの小さなおたまじゃくしを見て、「すくってみよう」と、カップでそっとすくいます。毎日、毎日見ていると、「あ！足が生えてきたよ」と、変化が感じられます。



春になり子どもたちは、柔らかな日差しの中、気持ちの良い庭で遊び出します。たくさんの遊びが繰り広げられている幼稚園の庭。春の遊びをご紹介します。

安心と信頼を積み重ねる中の満ち足りた笑顔

幼稚園は一人ひとりの子どもが家庭から社会へと、第一歩を踏み出す場です。子どもたちはここで安心できる先生に出会い、おもちゃや玩具に出会い、友だちに出会います。毎日何十種類もの遊びが生まれ展開する環境の中に子どもたちの満ち足りた笑顔が広がります。2011年度も主イエスさまと共にこの子どもたちの幸せを守るものでありたいと思います。



積み木の家の中でごっこ遊び—4歳児—



「いれて」「どうぞ」—3歳児—



「砂いれまーす」—4歳児—



公園で摘んできたヨモギを使っておだんご作り—5歳児—



「いた、いた、ダンゴシみつけた」—3歳児—



「いい色になってきたね」—5歳児—



「ヨモギダンゴ、おいしいねえ」

東洋英和
幼稚園



おもちつき—お相撲さんがおもちをつけてくださいました—

- アドヴェント終業礼拝
12月14日(火)
子どもたちとお母さま、みんな
で礼拝を守りました。
- ACEF(エイセフ)訪問
1月14日(金)
五歳児がぎんなん献金を届けに
行きました。
- おもちつき
1月14日(金)に三・四歳児はお
父様と、1月27日(木)に五歳児
はお相撲さんと一緒におもちつ
きをしました。
- すばなしの会 2月4日(金)
お母様方も臼井敬子さんにすば
なしを聞かせていただきました。
- 父と子の遠足 2月5日(土)
那須高原で雪だるまやかまくら
を作ったり、そりすべりを楽し
みました。
- 日本舞踊を観る会 2月15日(火)

大学付属
かえで
幼稚園



4歳児父親参加の日—お父様のつくった家に急いで逃げ込むゲームをしています—

- クリスマス礼拝
四歳児・五歳児は、二日に分け
て縦割りクラスで礼拝を守りま
した。三歳児の礼拝には、五歳
児有志が加わり、共にページェ
ントをしました。同窓会のクリ
スマスには多くの小学生から高
校生までが集まり、豊かな礼拝
の時を守るとともに、卒業生で
バイオリニストの川村菜奈さん
の演奏を聞きました。
- 父親保育参加 2月5日(土)
四歳児の父子が、園のいつもの
環境の中、積み木・砂遊び・こ
ままわし・木工・ころがしドッ
ジボール・凧作り等をそれぞれ
に遊ぶ時と、クラスでの集いの
時とで楽しみました。
- 卒業遠足 2月17日(木)
五歳児の子どもたちと保育者全
員で、富士の裾野へ出かけ、そ
り滑りを楽しみました。

小学部



マグノリアコンサート

- むかえようクリスマス
12月11日(土)
聖歌隊の合唱やオルガン、ハンド
ベルの音色に包まれ、ページェ
ントを通してクリスマス喜びを、
お集まりの一般の方々にも伝える
ことができました。
- 美術展
2月11日(金・祝)・14日(月)
テーマ「創るって楽しいな」
- 六年親子討論会
2月11日(金・祝)
六年生と保護者が一六組に分か
れ、それぞれのテーマのもとデイ
ベート(親子討論)をしました。
- マグノリアコンサート
2月18日(金)
学年ごとに合唱を発表した後、全
校児童で心を合わせて、子どもオ
ペラ「フィガロの結婚」を歌いま
した。

中高部



クリスマス音楽会—ハープと合唱部—

- 中学部鑑賞行事 12月8日(水)
卒業生の協力による日本舞踊教
室を開催し、人間国宝の西川扇藏
氏の舞踊を鑑賞しました。
- クリスマス音楽会
12月11日(土)
ハンドベル、オルガン、ハープ、
合唱等の演奏がありました。
- クリスマス礼拝
12月20日(月)
中学部は礼拝後に聖誕劇を演じ、
高等部は小林信人牧師(船橋教
会)からお話を伺いました。
- 生徒会中央委員会講演会
1月27日(木)
ユニセフ親善大使の黒柳徹子さん
をお招きしました。
- 中学部入学試験
2月1日(火)・3日(木)
- 高等部講演会 2月4日(金)
東洋英和女学院大学学長・副院
長の村上陽一郎先生の講演。

大学
大学院



クリスマスページェント

- (大学)
●クリスマス礼拝
12月20日(月)
説教は棚村恵子牧師(東京女子
大学准教授)。聖歌隊、オーケス
トラ、ハンドベルの演奏などでク
リスマスを祝いました。
- スカラシップ特別入試
12月19日(日)
- 大学入試センター試験
1月15日(土)・16日(日)
- 一般入試 1月31日(月)
- 一般入試(後期) 2月19日(土)
(大学院)
- 大学院入試
国際協力研究科、冬季選抜
12月4日(土)
- 人間科学研究科修士課程、博士
後期課程 春季選抜一次、二次
2月5日(土)・12日(土)
- 国際協力研究科、春季選抜
2月12日(土)

仕事の喜び・学ぶ楽しさ

M字型曲線の転換点世代

女性の生涯にわたる有職率を示すM字型曲線。社会に出て就職しても結婚や出産で退職し、子供の手が離れたら再就職するケースが多いことを表す。次第に深まったM字の谷が浅くなり始めるのは、一九五〇年生まれからだという。この年生まれの私はこれを知って妙に納得した。上の世代に何となく抱いていた違和感はこれだったのかと。私たちの世代は「女性と仕事」の転換点だったのだ。

ずっと職業を持っていたい、でもどんな仕事に自分が合っているかわからない。そんな模索をしていた二十代の最後に、因らずも鳥居坂に戻ることになった。高等部の斜め向かいにある国際文化会館に就職したのである。

日本研究を支援

職場は図書室。海外の日本研

究をサポートする専門図書館である。利用者の大半が外国人の日本研究者。自分の研究対象については普通の日本人よりはるかに深い知識がある人たちが、ライブラリアンに聞けば何かわかるはずだ、という観念をもってやってくる。聞かれるこちらも知的

好奇心を刺激され、できる限りの調査をもつて答える。日本研究は、世界の日本理解の基盤を形成するものであるから、うっかりした回答はできない。いつも真剣勝負であった。

このようなレファレンス・サービスに対する謝意が、ときに研究者の著書の中に記される。謝辞のページに名前を挙げてくれる著者も多かった。そういう書物を眺めるのはライブラリアン冥利に尽きる喜びである。

日本研究を支援する図書館は外国にもたくさんある。世界の日本研究図書館が協力し合う方法はなにか。英和の同級生、オッ



一九六九年高等部卒業 小出 いずみ

こいで いずみ

公益財団法人浩沢栄一記念財団実業史研究情報センター長。近代日本資料の情報資源化に取り組んでいる。一九七八年同志社大学大学院神学研究所修士課程修了。一九八〇年ピッツバーグ大学大学院図書館学研究所修士課程修了。二〇〇八年東京大学大学院人文社会系研究科修士課程修了。現在同博士課程在学。文化資源学専攻。一九八〇年から二〇〇三年まで財団法人国際文化会館勤務。二〇〇三年より現職。

クスフォード大学ボドリアン図書館のタイトラー梶田泉さんに現場の話聞いた。彼女の話から、

困難な環境の中で奮闘する海外の日本研究ライブラリアンを支援するにはネットワークを築くことだと考え、日本での研修プログラムを企画した。そんな中でもう一人、英和の同級生と繋がった。山田聡さん。ドイツのデュイスブルク大学で日本研究ライブラリアンをしている。同級生に限らず、日本と外国の橋渡しをしている仕事仲間が世界中に居ることを思うと、温かい気持ちになる。

社会人学生

転職した五十代初めのこと。夫の単身赴任や長男の大学進学で、東京に残された家族は高校生受験を控えた二男と私の二人きりになった。自分も受験勉強をすれば教育ママになる心配はない

のでは、と私も受験生になることにした。

そうして社会人学生が誕生。さすがにフルタイムの仕事しながらの学業にはエネルギーがいり。でも息子の年代の仲間と共に学ぶのは思いのほか楽しい。ゼミ旅行にもたくさん参加した。

現在の研究では明治生まれのバイオニア・ライブラリアン福田直美を追っている。彼女が小学生の時、英和で学んだことがわかって大感激。英和の史料室に英文手書きの大きな学簿簿があり、史料室の酒井ふみよさん(二年後輩)がそこに名前が載っているのを見つけてくれた。事実を示す記録資料は迫力満点である。

振り返ってみると今まで学生でもなく仕事もなかったのは、転職時の数か月間だけ。私にはM字の谷は殆んどなかったことになる。その基礎は英和で学んだ時期に築かれたのだと思う。



ケンブリッジ大学図書館の前で欧米の仕事仲間たちと。中段左から二人目に梶田さん



ゼミ旅行で訪れたコアガラス作家の松島さんのアトリエで

2011年度 行事予定

小 学 部		東洋英和幼稚園		大学付属 かえで幼稚園	
4月	7日(木) 始業式 11日(月) 入学式 * 春の健康診断 27日(水) イースター礼拝 28日(木) 春の遠足	4月	8日(金) 始業礼拝 13日(水) 入園式 * 春の健康診断 27日(水) 新入園母子歓迎会	4月	6日(水) 始業礼拝(進級児) 7日(木) 新入園児始業 12日(火) 入園式 25日(月) 在園児・小学生イースター礼拝 27日(水) 園外保育(4歳児)
5月	21日(土) 運動会 27日(金)～30日(月) 授業参観日	5月	31日(火) 春の遠足(金沢八景) * はみがき指導	5月	9日(月) 母の日礼拝 10日(火) 園外保育(5歳児) * 園外保育(3歳児) 14日(土) ワークI 19日(木) 健康診断
6月	7日(火)～10日(金) 6年修学旅行 15日(水) ペンテコステ礼拝 16日(木) 学校説明会① * 1、6年歯磨き指導 25日(土) 学校説明会② 25日(土) 土曜参観日	6月	4日(土) 父母の会 24日(金) いちようの木献金セール	6月	9日(木) 歯科健診 25日(土) ワークII
7月	夏期学校(軽井沢追分) 14日(木)～16日(土) 1年1組 16日(土)～18日(月) 1年2組 18日(月)～20日(水) 2年1組、6年1組 20日(水)～22日(金) 2年2組、6年2組 22日(金)～24日(日) 3年1組・2組 25日(月)～27日(水) 4年1組・2組 27日(水)～30日(土) 5年1組・2組	7月	6日(水)～8日(金) キャンプ(5歳児) [軽井沢追分寮] 13日(水) 終業礼拝 16日(土) 入園説明会① 18日(月・祝) 入園説明会②	7月	15日(金) 終業礼拝 たのしみ会(3歳児) 16日(土) 夕涼み会
8月		8月		8月	25日(木)～29日(月) 夏期保育
9月	2日(金) コース別集団下校訓練 22日(木) 秋の遠足	9月	5日(月) 始業礼拝 30日(金) 祖父母の会	9月	8月 31日(水)～2日(金) 軽井沢キャンプ(5歳児) 6日(火) 始業礼拝(5歳児) 7日(水) 始業礼拝(3、4歳児) 17日(土) 入園説明会① 24日(土) ワークIII
10月	1日(土) 追悼記念日礼拝 7日(金) 前期終業式 11日(火) 後期始業式 13日(木) 児童引取り・徒歩帰宅訓練 * 秋の健康診断	10月	1日(土) 追悼記念日礼拝 15日(土) 父と遊ぶ日(3、4歳児) 24日(月)～27日(木) 入園審査 * 秋の健康診断	10月	1日(土) 追悼記念日礼拝 15日(土) ファミリーデー(4、5歳児) [大学校地] 17日(月) オープンデー(3歳児) 26日(水) 入園説明会②
11月	1日(火) 入学審査 6日(日) 学院創立記念日 7日(月) 学院創立記念日礼拝 25日(金) 学芸会 28日(月) アドヴェントを迎える会	11月	4日(金) 学院創立記念日礼拝 6日(日) 学院創立記念日 11日(金) りんご園遠足(5歳児) [長野県上田市]	11月	1日(火) 入園願書受付 2日(水) 芋ほり(4、5歳児) 6日(日) 学院創立記念日 7日(月) 学院創立記念日礼拝・音楽会 12日(土) ワークIV 24日(木) アドヴェント礼拝I 28日(月) アドヴェント礼拝II
12月	10日(土) むかえようクリスマス 20日(火) クリスマス礼拝	12月	7日(水) 母の会アドヴェント礼拝 14日(水) アドヴェント終業礼拝	12月	5日(月) アドヴェント礼拝III 16日(金) クリスマス礼拝(3歳児) 20日(火)・21日(水) クリスマス礼拝(4、5歳児) 22日(木) 小学生クリスマス礼拝
1月	27日(金) マグノリアコンサート	1月	11日(水) 始業礼拝 * おもちつき * ACEF訪問(5歳児)	1月	11日(水) 始業礼拝(4、5歳児) 12日(木) 始業礼拝(3歳児) * 教会訪問(5歳児)
2月	10日(金)・11日(土・祝) 美術展 11日(土・祝) 親子討論会 15日(水) 授業参観日 21日(火)～24日(金) クラブ発表週	2月	4日(土) 父と子の遠足(5歳児) (栃木県那須高原) 16日(木) 日本舞踊を観る会	2月	4日(土) 父親保育参加(4歳児) 16日(木) 卒業遠足(5歳児) 18日(土) 人形劇 * 小学校訪問(5歳児)
3月	14日(水) 卒業式 15日(木) 修業式	3月	* お別れ会 * 課外日舞おさらい会 * 課外ピアノ科おさらい会 12日(月) 終業礼拝 13日(火) 卒業式	3月	* 園外保育(4歳児) 15日(木) 終業礼拝(3、4歳児) 16日(金) 卒業式 17日(土) お別れ会

*印は日程が未定(3月31日現在)

2011年度 行事予定

大学院		大学		中高部	
4月	2日(土)	入学式・オリエンテーション	4月	4日(月)	入学式
	16日(土)	修士論文(研究成果)題目届提出締切日 (2011年9月修了見込者) 博士論文題目届提出締切日 (2012年3月修了見込者)		1日(金)~8日(金)	学内オリエンテーション
	23日(土)	健康診断		23日(土)	プレイデー
5月	28日(土)	入試説明・相談会(両研究科)	5月	20日(金)~21日(土)	1年生オリエンテーション合宿
6月	30日(木)	修士論文(研究成果)提出締切日 (2011年9月修了見込者)	6月	19日(日)	オープンキャンパス * 東京女子大学スポーツ交流会
			7月	30日(土)	オープンキャンパス
7月	2日(土)	休講(2011年度修士課程後期入学試験)	8月	28日(日)	オープンキャンパス
	23日(土)	入試説明・相談会(両研究科)	9月	18日(日)	オープンキャンパス
9月	10日(土)	2011年度後期科目等履修生・プログラム履修生試験 人間科学研究科修士課程 2012年度前期(秋季選抜)一次試験 国際協力研究科修士課程 2012年度前期(秋季選抜)試験	10月	1日(土)	追悼記念日礼拝
				23日(日)	公募制推薦入試、同窓生子女特別推薦入試、一般・社会人編入試、社会人入試
	17日(土)	学位授与式 / 入学式・オリエンテーション	11月	2日(水)~3日(木・祝)	かえで祭
	18日(日)	人間科学研究科修士課程 2012年度前期(秋季選抜)二次試験		6日(日)	学院創立記念日
10月	1日(土)	追悼記念日礼拝 修士論文(研究成果)題目届提出締切日(2012年3月修了見込者)	12月	17日(土)	スカラシップ特別入試
				19日(月)	クリスマス礼拝
	22日(土)	入試説明・相談会 (国際協力研究科のみ)	1月	7日(土)	院内推薦入試、外国人留学生入試
	28日(金)	博士論文提出締切日 (2012年3月修了見込者)		14日(土)~15日(日)	大学入試センター試験
11月	6日(日)	学院創立記念日	3月	9日(金)	卒業礼拝
				15日(木)	卒業式
	19日(土)	入試説明・相談会 (人間科学研究科のみ)	2月	25日(土)	一般入試(後期)
12月	1日(木)	修士論文(研究成果)提出締切日 (2012年3月修了見込者)			
	3日(土)	国際協力研究科修士課程 2012年度前期(冬季選抜)試験			
2月	4日(土)	人間科学研究科 2012年度前期(春季選抜)一次試験	11月	31日(火)	一般入試
				11日(土・祝)	
	11日(土・祝)	人間科学研究科 2012年度前期(春季選抜)二次試験 国際協力研究科 2012年度前期(春季選抜)試験			
3月	3日(土)	2012年度前期科目等履修生・プログラム履修生試験	12月	1日(木)~7日(水)	II学期中間試験 / 高3期末試験
				7日(水)	II学期中間試験 / 高3期末試験
	17日(土)	学位授与式		7日(水)	II学期中間試験 / 高3期末試験
				10日(土)	クリスマス音楽会
				20日(火)	クリスマス礼拝

*印は日程が未定(3月31日現在)

全学院		
4月	1日(金)	新任者辞令交付式
	8日(金)	全学院新年度礼拝・歓迎会
7月	1日(金)	後援会常任役員会・役員会・総会
	16日(土)	三英和懇談会 (於 山梨英和学院)
10月	1日(土)	追悼記念日礼拝
	14日(金)	後援会役員懇談会
11月	4日(金)	永年勤続者表彰式
	6日(日)	学院創立記念日
	8日(火)	カナダ宣教師墓前礼拝 * ハンドベルフェスティバル
12月	2日(金)	全学院クリスマス礼拝
3月	2日(金)	後援会常任役員会 / 後援会・母の会役員・学院懇談会
	23日(金)	退職者辞令交付式・送別会

4月	7日(木)	中学部入学式
	8日(金)	中学部始業式 高等部入学式・始業式
	23日(土)	授業公開日・母の会総会
5月	9日(月)~11日(水)	高3修養会(天城)
	16日(月)~20日(金)	高2修学旅行(阿蘇・雲仙・長崎)
	16日(月)~20日(金)	中1オリエンテーション前後期 (軽井沢追分)
	18日(水)	中2~高1学年行事
6月	6日(月)~9日(木)	I学期中間試験
	9日(木)	中学部鑑賞行事、花の日礼拝・訪問
	16日(木)~17日(金)	高1カンファレンス(軽井沢)
	24日(金)	合唱コンクール(中学部)
	25日(土)	球技会(高等部)
		オープンスクール
7月	16日(土)~18日(月・祝)	オープニングキャンプ(野尻)
	18日(月・祝)~8月8日(月)	語学研修旅行(カナダ)
	22日(金)~29日(金)	中2夏期学校前後期(野尻)
	29日(金)~8月1日(月)	訓練キャンプ(野尻)
8月	1日(月)~6日(土)	キャンプ(野尻)
	*	夏期修養会
9月	3日(土)	第1回学校説明会
	22日(木)~29日(木)	I学期期末試験
10月	1日(土)	追悼記念日礼拝
	6日(木)	II学期始業礼拝
	8日(土)	体育祭
	21日(金)~22日(土)	楓祭
11月	31日(月)~4日(金)	10月 創立記念特別週間
	4日(金)	学院創立記念日礼拝
	6日(日)	学院創立記念日
	7日(月)~11日(金)	授業公開
	12日(土)	第2回学校説明会
	22日(火)	球技会(中学部)
	26日(土)	入試問題説明会
12月	1日(木)~7日(水)	II学期中間試験 / 高3期末試験
	7日(水)	II学期中間試験 / 高3期末試験
	7日(水)	II学期中間試験 / 高3期末試験
	10日(土)	クリスマス音楽会
	20日(火)	クリスマス礼拝
2月	1日(水)	入学試験A日程
	3日(金)	入学試験B日程
3月	1日(木)~7日(水)	II学期期末試験
	14日(水)	中学部卒業式・修業式
	15日(木)	高等部修業式
	16日(金)	高等部卒業礼拝
	16日(金)	卒業式
	*	短期留学
	19日(月)~22日(木)	スキー教室(志賀高原)
	20日(火)~23日(金)	聖書科学習旅行(沖縄)

英和の植物通信

～目を近づければ楽しさ無限～ No.24

絵・文・写真：中池 敏之
(大学非常勤講師：博物館概論等担当)



アカメガシワ (横浜キャンパス)

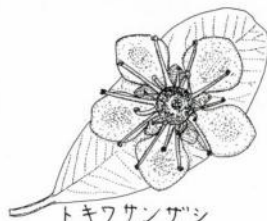
アカメガシワ (赤芽柏)

若葉は、出始めの頃は赤色をしており、生長するに従い、緑色に変わっていく。楽しい色の变化である。

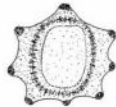
赤色の葉は、良く見ると葉の表面に毛が密生し、その毛が赤い色素を持っている。葉の表面を擦ると毛が取れて下に緑色が出てくる。びっくりでおもしろい。

若葉は、古く縄文時代から食料に利用されていた。また、この木の方言のカワラケシバ (土器柴) が示すように葉は食物を載せるお皿として利用されてきた。

子ども達は若葉を紙に押し当て、赤い色素を紙に写すスタンプ遊び (私は今でもする) をしたものだ。



トキワサンサシ
花は純白。オシベの数は2の本あります。



ヤブガラシ
茎の横断面。稜の各辺は赤紫色です。



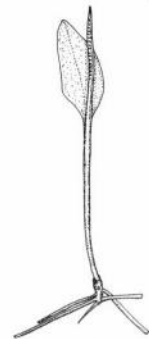
ケヤキ
ハートの形の実を見つけてください。



ハリギリ
学ぬには一杯。若葉は食べてもごくおいしい。



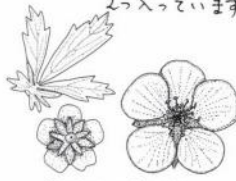
ゲッケイジュ
筒には鬼が2つ。そこから花粉を飛ばす。



ハマハナヤスリ
ちょっと変わった姿。シダ植物の仲間です。



スズメノエンドウ
さやの中にはタネが2つ入っています。



ミツバツチグサ
黄色の花が草むらさきを明るくしてくれます。



マツバウンラン
すらとした茎に紫色の花。エレガントです。



モミジイチゴ
最高に美味しい実。この実をさかすのは、春の楽しみですよ。

東洋英和楓の会主催 「鳥飼玖美子先生講演会」のご案内

楓の会が主催する春の講演会は鳥飼玖美子先生をお招きして「国際共通語としての英語を考える」と題し、これからの英語教育のあり方についてお話をいただきます。



鳥飼先生は現在、立教大学特任教授として教鞭をとられ、NHK教育テレビ「ニュースで英会話」プロジェクト全体の監修と講師をつとめられるなど多方面でご活躍中です。この機会にぜひご参加ください。

●日時：2011年6月18日(土)

●場所：中高部 新マーガレット・クレイグ記念講堂

※講演会当日の詳細はホームページ、または楓の会室までお問い合わせください。

東洋英和女学院法人事務局 楓の会室

TEL：03-3583-3354

メールアドレス：kaedenokai@toyoeiwa.ac.jp

東洋英和女学院学院報 楓園 第64号

発行日：2011年4月26日

編集：広報委員会

発行：学校法人 東洋英和女学院
東京都港区六本木 5-14-40
TEL 03-3583-3325

メールアドレス

koho@toyoeiwa.ac.jp

ホームページアドレス

http://www.toyoeiwa.ac.jp

同窓会総会のご案内
初夏の候、けやきが美しい六本木校地にお出かけになりませんか。
午前中は卒業時の所属会の同窓会総会を各会場で行い、午後は中高部新マーガレット・クレイグ記念講堂に全会が集合し学院標語「敬神奉仕」の額のもと、同窓の思いを一つに東洋英和女学院同窓会総会を開きます。
今年の講演会には大学学長に就任されて一年を迎える

東洋英和女学院同窓会総会	日 時：2011年6月4日(土) 13時10分より
	会 場：新マーガレット・クレイグ記念講堂(六本木校地)
各同窓会総会	総会議事：前年度行事報告・決算報告・監査報告 今年度行事案・予算案・新役員人事承認
	講演・チェロ演奏：村上陽一郎大学学長・副院長 テーマ「女性と科学」 チェロ演奏「祈り」(E.プロッホ作曲)
各同窓会総会	挨拶：池田守男理事長・院長 「東洋英和の現状と将来」
	終了後：お茶の会(15時45分終了予定)
各同窓会総会	保育部会(短期大学保育科) 10:30 中高部 小講堂
	かえで会(短期大学英文科) 11:15 中高部 集会室
	楓美会(大学) 11:30 本部・大学院棟大会議室
	東光会(高等部) 12:30 中高部 小講堂
	楓雅会(短期大学国際教養科) 12:30 中高部 集会室
各同窓会総会	大学院同窓会 12:30 本部・大学院棟小会議室

〈お知らせ〉

ガーネットハウス鳥居坂は4月1日より水曜日を休館とさせていただきます。

新入会員の紹介
ご卒業おめでとうございませう。
同窓会ご入会を心より歓迎いたします。
東光会(高等部同窓会) 一八二名
楓美会(大学同窓会) 五六六名
大学院同窓会 任意加入

同窓会より
られた村上陽一郎先生をお迎えし、解りやすいお話と、チェロの演奏をお願いいたします。池田守男理事長・院長先生からは「東洋英和の現状と将来」についてのお話を伺う予定です。
是非この機会を一緒に。